



令和3年度若年性認知症支援基礎研修

～ 若年性認知症の人が「その人らしく」地域で暮らすことを支える ～

若年性認知症とは、65歳未満で発症する認知症の総称です。若くして発症するため、当事者が家庭や社会の中で重要な役割を担っていることが珍しくありません。症状の進行に応じて様々な生活課題に直面し、その都度支援を構築していくことが必要であり、ひとつの相談機関だけで支援を完結させることが難しい場合があります。

本研修は若年性認知症の医療的な基礎知識を学んだうえで、若年性認知症の支援について考える研修です。今回は「若年性認知症の人が「その人らしく」地域で暮らすことを支える」をテーマに、様々な生活課題を抱える若年性認知症の人の地域での暮らしを多職種で支えてきたケースを通じて、支援のあり方について考えていただく機会にできればと思っております。

また今回は、昨年度当課で発行した「気づき・つながり・ともに生きる 認知症ガイドブック～京都市版認知症ケアパス～」の表紙・裏表紙に掲載されている写真と文章をご提供いただいた本市在住の若年性認知症当事者 下坂 厚氏からもお話を伺います。皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時 令和3年5月19日（水）14：00～16：30（13：30～ 受付開始）

場 所 オンライン（ZOOM）開催

対 象 者 若年性認知症の人の支援に携わる皆さま

- ・区役所・支所保健福祉センター健康福祉部 健康長寿推進課 健康長寿推進担当
高齡介護保険担当
障害保健福祉課
生活福祉課
- ・高齡サポート（地域包括支援センター）職員
- ・京都市認知症初期集中支援チーム 事務局チーム員
- ・介護保険事業所（居宅介護支援、通所系サービス、施設・居住系サービス 等）職員
- ・京都市社会福祉協議会 及び 各区社会福祉協議会職員
- ・障害者地域生活支援センター職員
- ・障害福祉サービス事業所（相談支援事業所・就労継続支援事業所）
- ・京都市リハビリテーション支援センター
- ・京都市こころの健康増進センター 等

内 容 講話「若年性認知症の医学的理解」

講師：京都府医師会認知症担当理事 認知症サポート医 西村幸秀先生

取組報告「若年性認知症の人が「その人らしく」地域で暮らすことを支える」

報告者：中京区社会福祉協議会 早樫希未氏

高齡サポート・西ノ京 センター長 足立朝子氏

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」 山本 洋氏

本人発信「認知症とともに生きる認知症当事者からあなたへ」

発信者：下坂 厚氏

参加費 無料

定員 80名

申込方法 「お申込みフォーム」に必要事項をご記入のうえ、ご送信ください。
https://sc.city.kyoto.lg.jp/multiform/multiform.php?form_id=4553



申込締切日：令和3年5月12日（水）

問合せ先 京都市保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課
（担当：認知症地域支援推進員 松宮）
〒604-8101 京都市中京区柳馬場通御池下る柳八幡町65 京都朝日ビル4階
TEL 746-7734 / FAX 251-1114

主催 京都市保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課

※※ 本研修はオンライン(ZOOM)で開催いたします ※※

- ・ 事前にオンラインツール「ZOOM」のダウンロードをお願いいたします。
- ・ 申込締切終了後、開催日までにZOOMの入室に必要な情報(参加用URL・ミーティングID・パスワード)と、当日資料のデータをメールにてお送りします。
- ・ フォーラム当日は、インターネット接続が可能な環境でご参加ください。

